

メイビルを訪問して

二年二組 川野 萌

九月二十三日から約一週間、アメリカのウイスコンシン州にあるメイビル中学校を訪問しました。また、その中の中学校の生徒の家にホームステイなどもしました。

私は、ケンドラという女の子の家にホームステイしました。初日、胸がドキドキと不安で、なかなか自分から話すことができませんでした。ケンドラがたく



さん話し掛けて来てくれたので、少しずつ自分からも話すことができるようになっていきました。又、ケンドラにはたくさん友達がいって、その友達たちとも仲良くなることができました。メイビルの人達は、みんな私達を温かく迎えてくれました。とてもうれしかったです。

メイビル中学校を訪問し一番驚いた事は、美術の授業でりんごのスケッチをした時、一マス目にはそのままでのりんごを書き、二マス目に一口かじったりんごを書くと、本物のりんごを一人一個本当にかじってしまふことに驚きました。それ以外にも机とイスがつながっていたり、私服登校だつたりと、日本との違いを見つける事ができました。又、メイビルの子達にたくさん質問されたりしました。その質問の内容の多くは、日本語でどう言うかと

いう質問でした。例えば、COW。これは、日本語で牛ですよ、というようにたくさん日本語を教えてあげることができました。

この貴重な体験で、たくさんさんの事を学ぶことができました。ウイスコンシン州のこと、メイビルのこと、そしてなによりもメイビルの先生方や、ホームステイ先のお父さん、お母さん、お姉さん達、ケンドラ、ケンドラの友達の温かさや、優しさなどを知りました。このような体験ができて本当に良かったです。今度は私が「来て良かった」と言われるように迎える番です。

一年一組 平山 未咲
メイビルを訪問して一番に得たもの：それは「友情」です。

私がホームステイをしたホストファミリーには、コリーンという同い年の女の子がいました。日本を出る前はわくわくしていました。が、やはり家族と離れて海外に出ると不安がありました。

せんでした。学校に行けば、一緒にアメリカに来た友達と会い日本語で話せませんが、それ以外はずっとホストファミリーと一緒に家で、家に居ても外に出ても耳に入ってくるのは英語だけで、さらに私は不安になりました。

けれど私の心からすぐに不安は消えました。それはコリーンがいてくれたからです。コリーンはいつも電子辞書を持ち歩いてくれていて、私が分からない言葉があると、いつも丁寧に優しく教えてくれました。気がつくとは私は、英語で話すことを楽しんでいました。「不安」という気持ちは完全に消え、日本を出る前のような「わくわく」した気持ちで胸がいつぱいでした。

けれど一週間はあつという間で、すぐに日本に帰る日が来てしまいました。笑顔で「Thank you」と言いたかったのに、楽しかった思い出がたくさん頭の中によみがえってきて、「別れたくない」という気持ち



で出てきた涙が止まりませんでした。別れる時まで笑顔になれなかったのですが、そのことが少し心残りです。

しかし、私にはたくさんさんの友達ができました。メイビルの学校でできた友達との友情。他のホストファミリーの子達との友情。そしてコリーンとの友情。一週間という短い間でしたが、私には本当にたくさんさんの友達ができました。今度また、みんなと会う時までにはもっと英語を勉強して、もっと話すことができるようになって、そしてもっとみんなとの友情を深めたいです。